



令和5年12月号

令和5年11月29日

# 園だより

認定こども園 うさぎ 宇佐崎保育園

今年は本当にあたたかく、12月とは思えない毎日が続いています。少しずつ冬らしい寒さになっていき、年の瀬を感じていくのでしょうか。まだまだ戸外あそびを楽しめそうです。

今年も残り1カ月となりました。子どもたちそれぞれが大きたくたくましく成長してきたことに喜びを感じています。2023年の締めくくりにふさわしく、楽しく充実した毎を送りたいと思います。

## 【今月の保育目標】

精進（しょうじん）「つとめます」

## 12月の行事予定／今後の予定

2日（土）劇あそび発表会

4日（月）劇あそび発表会写真

※劇あそびと同じ服装で登園してください

11日（月）成道会

13日（水）SLライナー来園

14日（木）避難訓練

18日（月）合同礼拝、誕生会

19日（火）消火訓練

28日（木）保育納め

5日（火）、19日（火） スイミング

6日（水） 大根抜き（5歳児）

7日（木） 英語

20日（水） 体操

21日（木）、22日（金） エアポリン

### 1/4（木）希望保育です。

お仕事で保育が必要な方は、減私申込用紙でお申し込みください。

どなたか見て下さる方がいらっしゃる場合は、家庭保育にご協力お願い致します。

※冬休みは12/29（金）～1/3（水）

1/5（金）～保育初め（1日保育）になります。



## 成道会～じょうどうえ～

お釈迦様が菩提樹の下でお悟りを開かれたことをお祝いする日、お悟りを開かれたことでたくさんの人を救ったお釈迦様に感謝する日です。



## 園長先生のおはなし



今月の保育目標は「つとめます」精進（しょうじん）です。

聞いたことを領解（りょうげ）し、態度に現れて意欲的に務め励むことを精進といいます。

領解とは先月の保育目標でも書きましたが、相手の心を読み取るということでした。相手の心を汲み取ったうえで、次に自分自身ができることを積極的に考えて行動することが大切です。

さて「まことの保育」11月号の冊子、巻頭言の文章のなかに私の最も大好きな和讃の言葉がありますので、今回も引用させていただきます

『一一（いちいち）のはなのなかよりは、三十六百千億の、光明てらしてほがらかにいたらぬところはさらになし』

と親鸞聖人の御和讃の一節です。

これを私なりに解釈してみますと、

「ひとつひとつのお花」の中には「三十六百千億のお花」の輝きがあり、いつもほがらかに周りを照らし続けている。その輝きは届かないところ、至らないところは何一つありませんよということです。つまりは、人にはそれぞれの輝きがあるので、それを見落とさないようにしなければならない。子どもたちも皆それぞれに輝きを持っているので、大人は子ども一人一人の個性に気づいて尊重させていただくことが大切ですよという風に考えることができます。

秋は「スポーツの秋」、「芸術の秋」、と色々な活動があった季節ですが、これから冬にかけても劇あそび発表会やSLライナーがやってきて蒸気機関車に乗ったりと活動は続きます。様々な活動を通じて精進できる機会がたくさんあると思います。寒さを吹き飛ばして子どもたちと一緒に一日一日を喜び、楽しみましょう。

今月も宜しくお願い致します。

